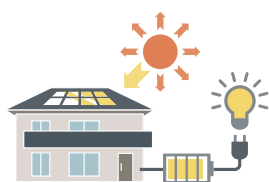


ソーラーカーポートの導入について

自家消費型の太陽光発電設備導入のメリット

災害時などの
停電時でも、
電気が使える



電力会社に支払う
電気料金の削減
(電気料金上昇リスクの低減)



CO₂排出量の
削減による
地球環境への貢献



企業の場合、
国際イニシアティブ
「RE100」への活用が可能
(ESG投資の呼び込む効果も期待)

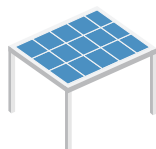


空き地での太陽光発電設備の導入は進み、未開発適地は減少しています。
また、建物屋根上だけでは十分な再エネ電力を得られない場合があります。

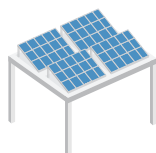
そのようななか、駐車場に設置できる **ソーラーカーポート** に注目が集まっています。

ソーラーカーポートとは

- 「ソーラーカーポート」とは、カーポートの屋根として太陽光発電パネルを用いるもの(太陽光発電一体型カーポート)、あるいは、カーポートの屋根上に太陽光発電パネルを設置するもの(太陽光発電搭載型カーポート)を指します。
- カーポートを設置することで、駐車場の駐車スペースを確保したまま、駐車場の上部空間を利用した太陽光発電を実現できます。



太陽光発電一体型
カーポート



太陽光発電搭載型
カーポート

需要家 企業、家庭、公共施設(学校など)など



利用者(従業員、顧客)や、駐車場規模に依らず、
駐車スペースに設置可能

ソーラーカーポートの優れた点と注意点

- ソーラーカーポートの優れた点は、土地の有効活用が可能なこと、電力需要施設の敷地内に発電適地があること。
- ソーラーカーポートは、建築基準法に基づく“建築物”に相当する。

優れた点

●土地の有効活用が可能なこと

駐車場の上部空間のみを利用するため、駐車スペースを圧迫せずに発電可能



●需要施設の敷地内に発電適地があること

駐車場は電力需要施設に隣接しているため、自家消費が容易であること

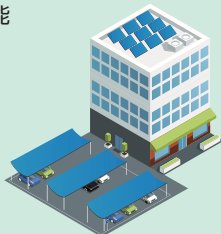
これに付随し、以下などが挙げられる



災害時等においても電力を利用でき、事業等の災害耐性強化、地域のレジリエンス強化にもつながる



ソーラーカーポートによる敷地内開発を行い、敷地内全体でのZEB/PEB※1の実現が可能



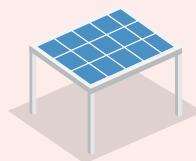
注意点

ソーラーカーポートは、建築基準法上の「建築物」に該当します。そのため、建築基準法に則った設計・施工・監理が必要です。

土地に自立して設置する太陽光発電設備は、建築物に該当しないもの※2とされており、運用が異なりますのでご注意ください。

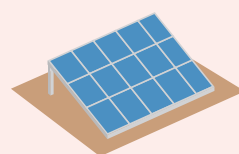
建築基準法の対象

ソーラーカーポート



建築基準法の対象外

野立て太陽光発電設備



※1 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)は、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物のこと。PEB(ポジティブ・エネルギー・ビル)は、年間の一次エネルギー消費量を上回る発電を行うことを目指した建築物のこと。

※2 「太陽光発電設備等に係る建築基準法の取扱いについて」(国土交通省;平成23年3月25日)より

ソーラーカーポート導入事例

ソーラーカーポートによる駐車場への太陽光発電設備の導入事例は近年増加傾向にあります。

Jヴィレッジ | スポーツトレーニング施設、宿泊施設等の複合施設の駐車場

所在地	福島県双葉郡楢葉町・広野町
導入容量	151.2kW
パネル設置枚数	552枚
発注者	福島県
設計者	豊通ファシリティーズ株式会社
電力用途	全量Jヴィレッジ敷地内で自家消費



村田製作所 | 電子部品製造工場の駐車場

所在地	岡山県瀬戸内市邑久町
導入容量	2,403kW
パネル設置枚数	8,010枚
発注者	株式会社村田製作所
設計・施工者	オムロンフィールドエンジニアリング株式会社
電力用途	FITに基づき売電、FIT期間終了後は自家消費によりRE100の実現に活用

